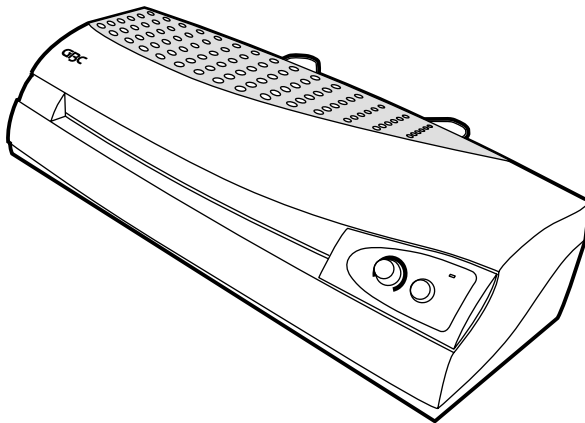




取扱説明書

パウチラミネーター DocuSeal R4

GLMR4



GBC 日本ジ・ピー・シー株式会社

〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー

TEL.03(5351)1801 <http://www.gbc-japan.co.jp>

はじめに

このたびはGBCパウチラミネーター < DocuSeal R4 > をお買求めいただき、ありがとうございました。

ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みいただき末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

本取扱説明書は必ず保管してください。

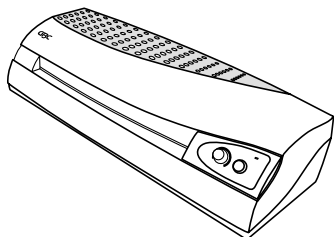
目次

| | |
|-------------|----|
| 内容物の確認 | 1 |
| ご使用上の注意 | 2 |
| 各部の名称と働き | 4 |
| ラミネート作業上の注意 | 6 |
| セット方法 | 7 |
| 操作方法 | 7 |
| お手入れ方法 | 10 |
| こんなときは | 11 |
| 製品仕様 | 12 |
| 保証とサービス | |

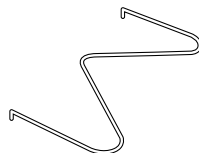
内容物の確認

下記のとおり、本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

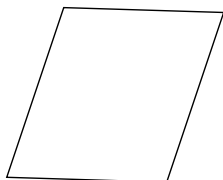
マシン本体



サポートアーム



クリーニングペーパー（2枚）



取扱説明書（保証書）



ご使用上の注意

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろ絵表示しています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。



警告



マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。

高温のため、やけどをする恐れがあります。



ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。けがをする原因になることがあります。

万一引き込まれたときは電源スイッチを“OFF”にして取り除いてください。



塗れた手で電源プラグを扱わないでください。感電の恐れがあります。



電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものをのせたり、しないでください。

火災、感電の恐れがあります。



ご自分で分解、改造、修理をしないでください。感電や思わぬけがをする恐れがあります。



万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。

火災、感電の恐れがあります。



注意



本機は紙専用のラミネーターです。他の目的に使用しないでください。



絶対に可燃物(セロハン等) 軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン)は入れ
ないでください。

火災の恐れがあります。



ラミネーター操作中はそばを離れないでください。

また、加工を終了した場合は電源スイッチを必ずオフにしてください。



絶対に本体の上に物を置かないでください。

本体上面は高温になります。



本機は必ず平らな所へ設置し、フィルム取出口側からラミネートしたものを
取り出せるスペースを取ってください。



冷暖房のそば、高温多湿な場所、埃の多い場所で使用しないでください。

火災、感電の恐れがあります。



本機に水などをかけないでください。

火災、感電の恐れがあります。



電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。

火災、感電の恐れがあります。



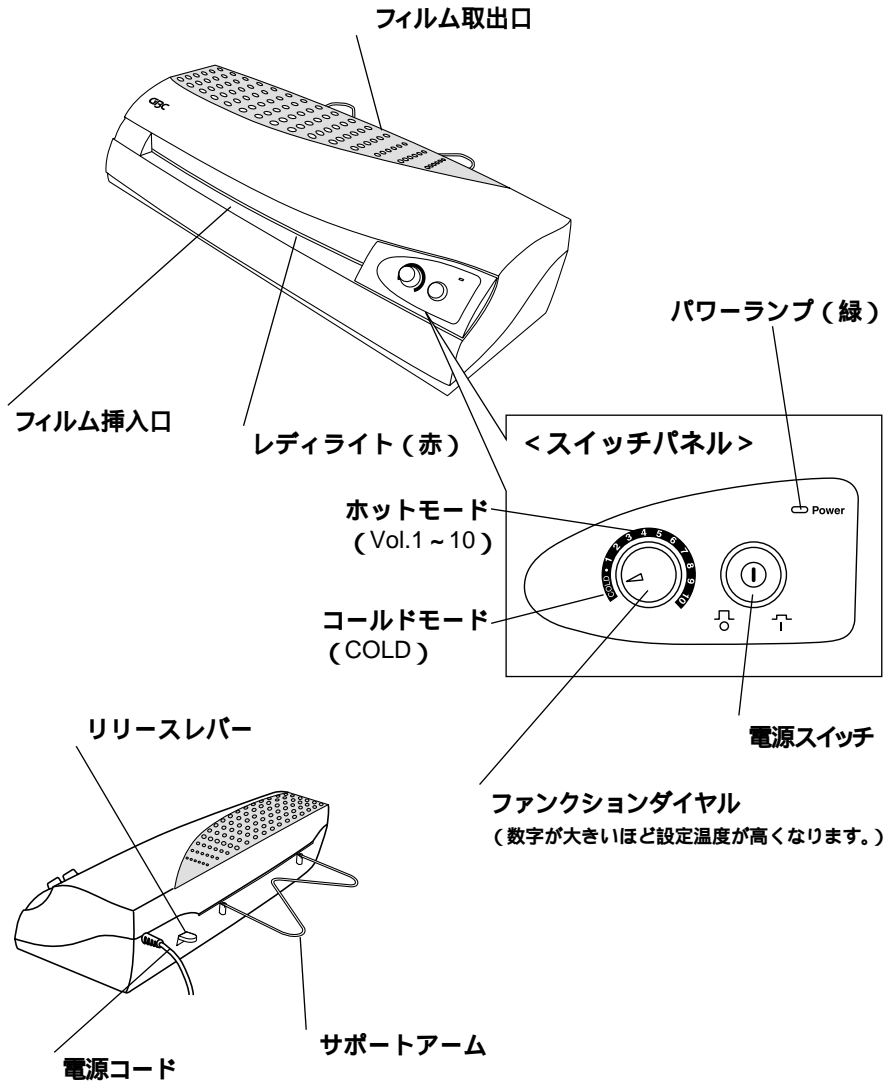
必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるよ
うに、コンセントの傍に物をおかないでください。



電源は必ずAC100V電源をご使用ください。本機は消費電力が大きいので、タコ足配線はしないでください。

火災、感電の恐れがあります。

各部の名称と働き



電源スイッチ

このスイッチを押して、電源をオン・オフにします。使用しない場合は、必ずオフにしてください。

ファンクションダイヤル

このダイヤルを回して、モード（コールド・ホット）およびラミネート温度を設定します。数字が大きいほど設定温度が高くなります。

ホットモード（Vol.1～10）

ラミネートする用紙の種類・使用するラミネートフィルムの厚さに応じて、ファンクションダイヤルを回して、ラミネート温度設定をしてください。

コールドモード（COLD）

コールドラミネートをする場合は、ファンクションダイヤルを回して、「COLD」の位置にします。

パワーランプ（緑）

点灯している時は、電源が入っていることを表します。

レディライト（赤）

ウォームアップが終了すると、フィルム挿入口が赤く発光してラミネート可能な状態を表します。

フィルム挿入口

パウチフィルムにラミネートするものをはさみこんで、必ずパウチフィルムのシール部（接合部）側から挿入します。

フィルム取出口

ラミネートされたものがここから出てきます。

サポートアーム

フィルム取出口に出てくるラミネートされたものを支えるアームです。マシン背面にサポートアームをセットして使用してください。

リリースレバー

加工時にフィルムがフィルム取出口から出てこない時は、電源スイッチをオフにしてから、マシン背面にある「リリースレバー」を押しながら、加工物をフィルム挿入口から引き戻してください。

電源コード

マシン本体背面にある電源コードを、AC100Vのコンセントへ差し込んでください。

ラミネート作業上の注意

ラミネートは熱を加えて圧着しますが、操作の手違いにより失敗したり、フィルムを巻き込んだりすることがあります。次のようなラミネートはやめてください。

< ラミネートするもの >

このラミネーターは紙専用です。金属・ビニール製品・布・木片等はラミネートしないでください。また、コーティング処理された紙や油分を含むコート紙等はラミネートしないでください。

和紙・感熱紙・クレヨン画など熱により変色変質する紙はラミネートしないでください。

可燃物(セロハン等)・軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン等)は絶対にラミネートしないでください。

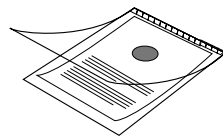
再生することが不可能なような貴重なものをラミネートしないでください。

フィルムを含めて厚さ0.6mm以上になるものはラミネートしないでください。

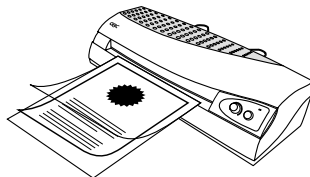
写真や紙をはさまないで、フィルムだけでラミネートしないでください。

< ラミネートするとき >

フィルムのシール部には余白を取らずに、ラミネートする紙は必ずフィルムのシール部(接合部)全巾に押し当ててセットしてください。異形物加工の場合はシール部に「捨て紙」を入れて、シール部の余白がないようにしてください。



必ずフィルムはシールされた側(接合部)からラミネーターに入れてください。



上記の2点は必ずお守りください。

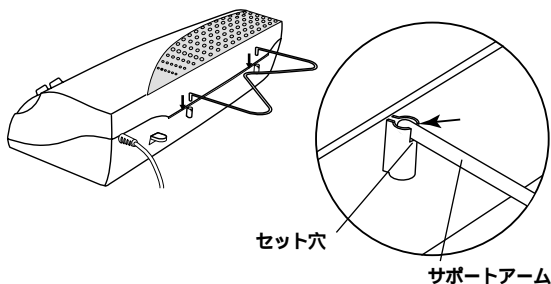
間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。

貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。



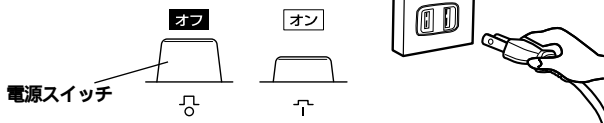
セット方法

付属のサポートアームをマシン背面のアームセット穴にセットしてください。この時、サポートアームがセット穴の上に飛び出さないようにしっかりと奥まで差し込んでください。

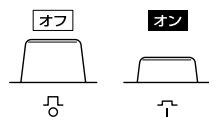


操作方法

電源スイッチを「オフモード」にして、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



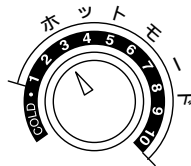
電源スイッチを押して“オン”にしてください。
パワーランプ（緑）が点灯します。
(電源投入時はラミネート温度は設定されていません。)



ラミネートする用紙の種類・使用するラミネートフィルムの厚さに合わせて、ファンクションダイヤルを回してラミネート温度を設定してください。(下表を参照)
下表は目安ですから適時調整してください。

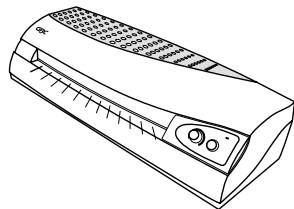
設定温度を下げる時は、15分以上放置してから加工してください。

| 加工物 | フィルム厚 | 80 μm | 100 μm | 125 μm | 150 μm |
|-------|-------|-------|--------|--------|--------|
| コピー用紙 | | 1~3 | 2~4 | 3~5 | 4~7 |
| カタログ | | 2~4 | 3~5 | 4~6 | 5~8 |
| 写真 | | 2~5 | 3~6 | 4~7 | 5~9 |

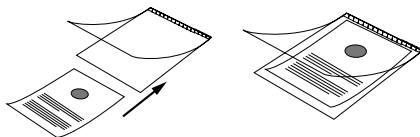


ダイヤル設定は被ラミネート物、環境温度、使用状況等様々な要因に応じて調整してください。
(P11参照)

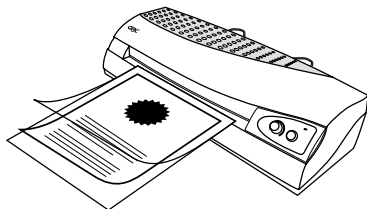
約5～10分後にフィルム挿入口のレディライトが赤く発光し、ラミネート可能なことを知らせます。(設定温度により異なります。)



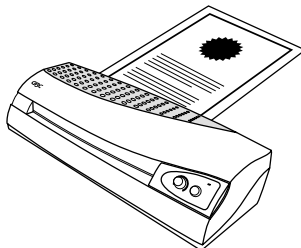
ラミネートするものをパウチフィルムのシール部(接合部)の奥まで余白のないようにきちんと入れてはさんでください。



シールされた側からフィルムを通し、フィルム挿入口へ差し込んでください。



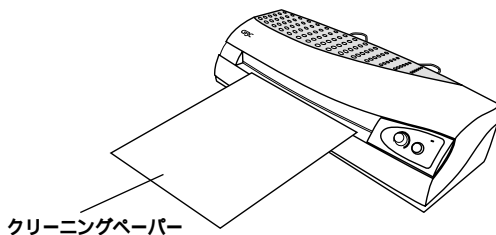
パウチフィルムがマシン背面のフィルム取出口から出てきましたら、ラミネート完了です。



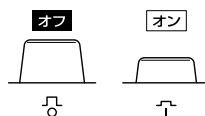
連続してラミネートする時は、必ず前にラミネートしたものをフィルム取出口から取り出した後で、次のパウチフィルムをフィルム挿入口に入れてください。また、仕上がり具合を確認し、加工物表面が曇っている場合はローラー温度が低いので、5～10分待ってから加工してください。

ラミネートが完了しましたら、ローラーを清掃するために、同梱のクリーニングペーパー、もしくは厚手の紙（画用紙程の厚さ、200g/m²程度の厚さの用紙）をフィルム挿入口より入れてください。この作業を数回繰り返してください。ローラーが汚れていますとフィルムを巻き込む原因となりますので、加工後は必ずクリーニングを行って汚れを取り除いてください。

二つ折りにした紙を使用する場合は、必ず折った方から入れてください。また、コピー用紙等、薄手の用紙を使用すると巻き込む恐れがありますので、使用しないでください。

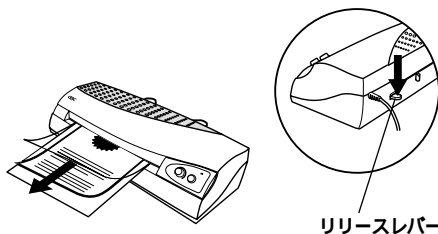
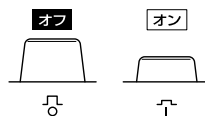


クリーニングが終了しましたら、必ず、電源スイッチをオフにしてください。



<リリースレバー>

フィルム挿入口へ入れた加工物を途中で戻す時は、電源スイッチをオフにしてから、マシン背面にある「リリースレバー」を押しながら、加工物をフィルム挿入口から引き戻してください。



お手入れ方法



必ず電源プラグをコンセントから抜いてあることを確認してください。

やわらかい布で「から拭き」をしてください。

お手入れはマシン本体の外部だけにしてください。

汚れのひどい時は、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。

シンナー・ベンジン等は変色・変形・傷などの原因となりますので使用しないでください。

こんなときは

| 現象 | 原因 | 対処法(参照ページ) |
|--------------------------|--|--|
| 電源が入らない (パワーランプがつかない) | 電源プラグが正しくコンセントに入っていますか? 電源スイッチがオンになっていますか? | 電源プラグを正しくコンセントに入れてください。(7ページ) 電源スイッチをオンに入れて、パワーランプを点灯させてください。(7ページ) |
| ホットラミネートができない | パワーランプ(緑)が点灯していますか? レディライト(赤)が発光していますか? クーラーの冷気が直接当たっていませんか? | 電源スイッチをオンに入れて、パワーランプを点灯させてください。(7ページ) ファンクションダイヤルをホットモード(Vol.1~10)に設定して、電源スイッチをオンにしてください。レディライト(赤)が発光するまでお待ちください。(7ページ) クーラーなどの冷気から離してご使用ください。(3ページ) |
| ラミネートフィルムがはがれる | 紙以外の材質のものをラミネートしていませんか? | 紙専用のラミネーターです。紙以外のものはホットラミネート加工をすることができません。また、コーティング処理された紙、油分を含む特殊紙は加工できません。(6ページ) |
| ラミネートされた加工物が波を打っている | ラミネート温度が高すぎます。 | ラミネート温度の設定を下げてください。(7ページ) |
| ラミネートされた加工物の表面が曇っている | ラミネート温度が低すぎます。 | ラミネート温度の設定を上げてください。(7ページ) |
| ラミネートフィルム表面が汚れる | ローラーのクリーニングをしていますか? | 同梱のクリーニングペーパー、もしくは厚手の紙を使用して、ローラーをクリーニングしてください。(9ページ) |
| ラミネートフィルムが取出口から出てこない | パウチフィルムがラミネーターの中に詰まっています。 | 直ちに電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店あるいは弊社までご連絡ください。 |

製品仕様

| | |
|----------------|-----------------------|
| 製品名 | パウチラミネーター DocuSeal R4 |
| 品番 | GLMR4 |
| サイズ(W)×(D)×(H) | 495 × 170 × 110mm |
| 重量 | 4.4 kg |
| 電源 | 100V、50/60Hz |
| 消費電力 | 600W |
| 最大ラミネート幅 | A3(324mm) |
| ラミネート速度 | 0.55m / 分 |
| ラミネート温度 | 0 ~ 170 |
| 加熱方式 | MICA外部ヒーター方式 |

保証とサービス

保証書は内容を確認のうえ、保存してください。

販売店印、お買上げ年月日の記入のないものは無効となりますのでご注意ください。

保証期間中に正常な使用状態で、万一故障した場合には、保証書記載事項に基づき、無償修理いたしますので、お買い求めの販売店、または弊社へお申し出ください。

- (1) 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります
- a. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - b. お買上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - c. 火災、地震、水害、落雷その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他外部要因による故障または損傷。
 - d. 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障または損傷。
 - e. 本書の掲示のない場合。
 - f. 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- (2) ご贈答品等で本書に記入してあるお買上げの販売店に修理をご依頼できない場合には当社へご相談ください。

(3) 本書は日本国内においてのみ有効です。

(4) 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。

(5) 保守サービスのために必要な補修用性能部品最低保有期間は本機製造中止後5年間です。

(6) もし、ラミネート加工中に失敗した場合やラミネートした写真などの表面に気泡などが発生した場合でも、内容物の保証は致しかねます。

修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてはご不明な場合は、お買上げの販売店または当社へお問い合わせください。

キ リ ト リ 線

パウチラミネーター 保証書

| | |
|---------|-----------------------|
| 品 名 | パウチラミネーター DocuSeal R4 |
| 機 種 | GLMR4 |
| 保証期間 | 12ヶ月 |
| シリアルNo. | |

| | |
|-------|-------|
| お買上げ日 | 年 月 日 |
| お 客 様 | ご芳名 |
| | ご住所 |

GBC製品をお買上げいただきありがとうございます。保証期間内に、取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で故障した場合には本書記載内容に基づき、お買上げの販売店が無償修理いたします。お買上げの日から左記保証期間内に故障した場合は本書をご用意いただき、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

| | |
|-------|---------|
| 販 売 店 | 住所/店名 |
| | TEL () |

GBC 日本ジ・ピー・シー株式会社

〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー

TEL. 03(5351)1801 <http://www.gbc-japan.co.jp>

印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。